GRAPHT

OMNI PLUS

取扱説明書

正しく安全にお使いいただくために、ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、同意の上本製品を正しくご使用ください。
尚、この取扱説明書は大切に保管してください。



■内容品一覧

コントローラー本体



2.4GHzワイヤレスドングル



USB ケーブル / USB-A to USB-C（1m）



交換可能方向キー



（ディスク）



（ハイブリッド）

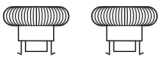


（クロス）
装着済

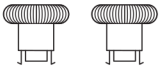
取扱説明書



交換可能スティック



（ショートタイプ）
装着済



（ロングタイプ）

■製品仕様

本体サイズ	W154 x H111 x D59mm
重量	230 ±5g
接続方式	Bluetooth、2.4Ghz レシーバー (USB-A)、有線 (USB-A to C)
入力方式	XInput、DirectInput、Switch 用モードを切り替え可能
ポーリングレート	1,000Hz (ワイヤレス、有線)
連続使用時間	約 10~15 時間
充電時間	約 2 時間
ジョイスティックタイプ	ホールエフェクト
トリガータイプ	ホールエフェクト
ABXY ボタン	メカニカル
その他	4 段階振動機能、ターボモード モーションセンサー (ジャイロ)、マクロ機能
動作環境温度湿度	0℃~40℃ / 湿度 : 35~85%
電波周波数帯	2.4GHz
電源方式	USB ケーブル接続充電
定格	5V＝350mA
電池種類	内蔵型リチウムイオン充電池
電圧	3.7V＝180mA
電池容量	1000mAh

※連続使用時間、充電時間は目安です、使用状況や使用環境により変動します。

■対応機種

プラットフォーム : Switch
PC (XInput、DirectInput、PC Switch)
Android
iOS

Switch : Switch、Switch Lite、Switch OLED
PC : Windows 7/8/10/11
Android : Android 4.2 以降のシステム
iOS : iOS 13.3 以降のシステム

■安全上の注意

⚠ 警告	この表示は「誤った取扱いをした時に、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの」を意味しています。
⚠ 注意	この表示は「誤った取扱いをした時に、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの」を意味しています。

⚠ 警告
- 絶対に分解や改造をしないでください。感電、故障の原因となります。
- 異臭・異音、変形、煙が出る、破損があるなどの異常が発生した場合は速やかに使用を注意してください。発火や感電の原因となります。
- 直射日光の当たる場所、炎天下の車内、暖房機器の近く、その他高温多湿な場所での使用や保管、放置をしないでください。
  発熱・発火、やけど、感電の原因となります。
- 水につけたり、濡れた手で触らないでください。発火や感電の原因となります。
- 乳幼児が触れたり、手の届く範囲に置かないでください。ケガや思わぬ事故の原因となります。
- 心臓ペースメーカーなどの医療機器をお使いの方は、本製品のご使用にあたって医師とご相談ください。
- コントローラー内蔵のバッテリーから液がもれたときは、すぐに使用を中止してください。
  液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の診察を受けてください。
  液が身体や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
  皮膚に炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

⚠ 注意
- 本製品を使用する際には接続機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧いただき、それぞれの警告事項・注意事項に従ってください。
- 医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が要求される機器や電算機システムなどと直接的または間接的に関わるシステム環境下で使用しないでください。
- 航空機内で使用する場合は航空会社の指示に従ってください。通信システムを妨害する恐れがあります。
- 投げたり、衝撃を与えたり、重い物をのせたりしないでください。故障の原因となります。
- 取り付け、取り外しを行う際の作業は慎重に行ってください。コネクターを正しい角度で差し込んでください。
  また、差し込み口にホコリやゴミが入らないように十分ご注意ください。
- 頭痛、めまい、吐き気、疲労感、乗り物酔いに似た症状などを感じたときや、目、耳、手、腕、足など、身体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに使用を中止してください。使用を中止しても治らないときは、医師の診察を受けてください。
- お手入れする場合は乾いた布や綿棒で行ってください。ベンジンやシンナー、アルコールなどの薬品は使用しないでください。
- 廃棄するときは、各自治体の指示に従ってください。

■使用上の注意

●ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
●本来の用途以外には使用しないでください。本来の用途以外での使用が原因の損害について、弊社は一切の責任を負いかねます。
●本製品を使用したことによって生じた動作障害、データ損失、接続機器などの障害について、弊社は一切の責任を負いかねます。
●2.4GHz 周波数帯域を使用しています。同じ周波数帯域を使用する無線機器や無線 LAN 機器に影響を与えることがあります。
●Bluetooth® 対応の全ての機器との接続動作を保証したものではありません。
Bluetooth® 機器の仕様によって、機能に差が生じる場合があります。
Bluetooth® の無線接続では、Bluetooth® 機器との間で操作のための信号を送受信して処理を行うため、
操作に対する反応が遅れたり、遅延が生じることがあります。
●充電をしてからご使用ください。
●精密な電子機器のため衝撃や振動の加わる場所、強い磁力・静電気の発生する場所などでの使用・保管はしないでください。
●直射日光の当たる場所、湿気、ほこり等の多い環境に放置すると故障の原因となります。
●本製品は長い間使用すると、紫外線や摩擦、経時劣化により、変色やコーティングの剥がれが起こることがあります。
●仕様及び外観は商品改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※Bluetooth® は、米国およびその他の国で登録された Bluetooth SIG,Inc の商標または登録商標です。
※その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

■製品特徴

・Xbox レイアウト
・マグネット式で交換可能なフェイスプレート
・Bluetooth、2.4GHz ワイヤレスドングル、USB-A to USB-C 有線接続
・メカニカルスイッチ ABXY クリスタル ボタン
・プログラム可能な 2 つのマクロキーと 2 つの割当てキー
・Switch のスリープ解除機能
・スティックにリンクされたモーションセンサー マッピング
・ABXY ボタン配置が Xbox と Switch モードに切り替え可能
・方向キーと左スティックの機能切り替えが可能
・スティック マージン スイッチ (丸型 / 四角型)
・1000mAh リチウム バッテリーを内蔵し、高度な省電力技術でプレイ時間を延長
・多彩なライティング効果を調節可能なダイナミック RGB ジョイスティックリング
・3 段階の調整可能な速度を備えた TURBO 機能搭載
・ボタン設定と設定用のモバイルアプリ接続をサポート
・PC、Swith、Android、iOS プラットフォームと互換性あり

・ホールエフェクト機構搭載スティック
アンチドリフトホール効果スティックを備えており、デッドゾーンのない超正確な真円性入力を提供します。



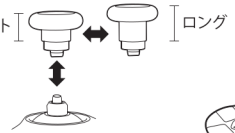
・非対称デュアルローターモーター（Microsoft 標準）
4 段階の振動レベルをカスタマイズ
ゲーム中のニーズに合わせて振動レベルを調整できます。



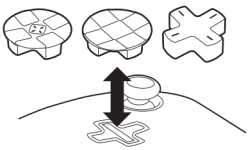
・6 軸モーションセンサーで Switch ゲームプレイをサポート
動き、傾き、回転を検知する高感度ジャイロスコープを内蔵しております。



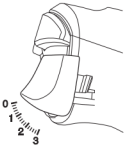
・交換可能なスティック (ショート、ロング)
2 種類の高さに交換可能なスティック
好みに応じて、スティックの高さをの高さを変えられます。



・交換可能な D パッド デザイン (クロス、ディスク、ハイブリッド)
3 種類の交換可能な種類の方向キー
ゲームや好みに合わせて、方向キーを簡単に交換できます。



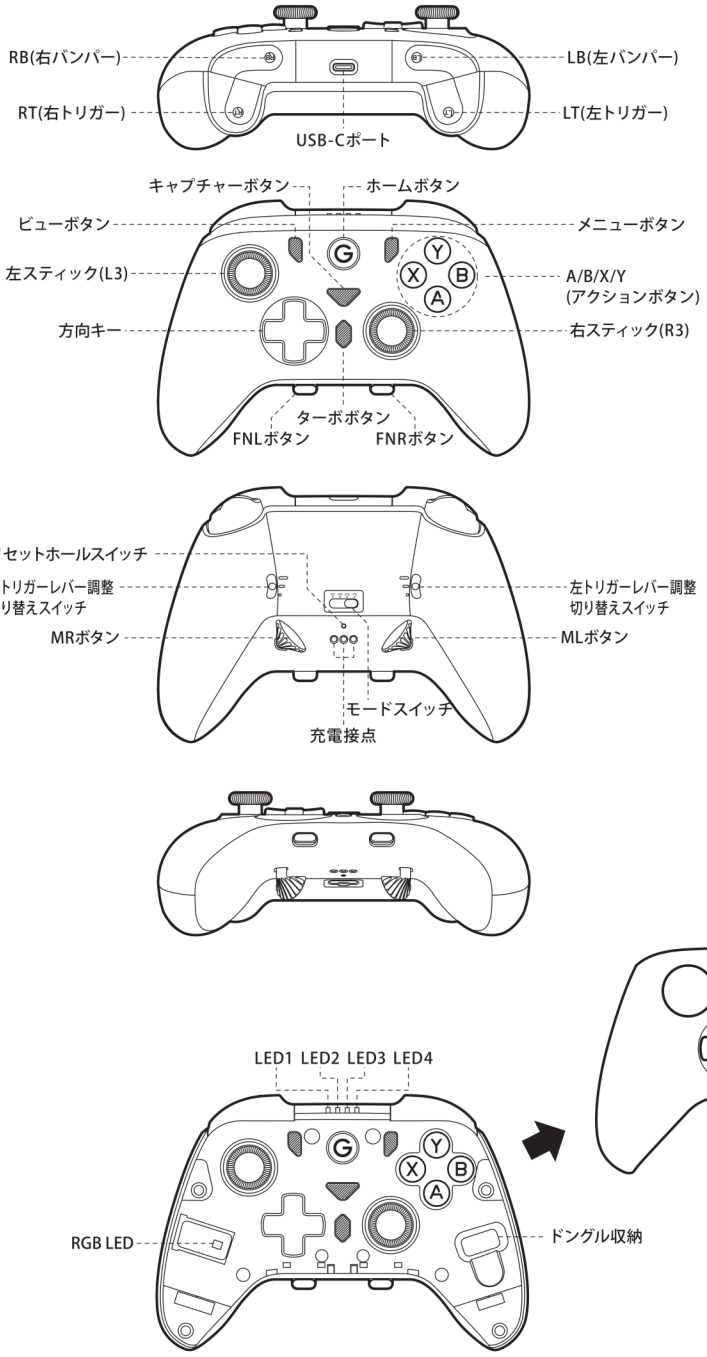
・3 つの位置調整が可能なトリガーレバー
3 段階ホールド可能な高精度ホール効果トリガー
3 段階ホールド調整可能な高精度なホールエフェクトトリガーを体感してください。





トリガーレバー
調整切り替えスイッチ

■各部の名称

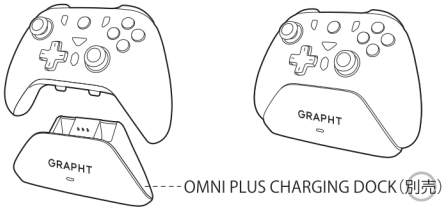

RB(右バンパー)
LB(左バンパー)
RT(右トリガー)
LT(左トリガー)
USB-Cポート
キャプチャーボタン
ホームボタン
ビューボタン
メニューボタン
左スティック(L3)
A/B/X/Y
(アクションボタン)
方向キー
右スティック(R3)
ターボボタン
FNLボタン
FNRボタン
リセットホールスイッチ
右トリガーレバー調整
切り替えスイッチ
左トリガーレバー調整
切り替えスイッチ
MRボタン
MLボタン
モードスイッチ
充電接点
トップカバー
LED1 LED2 LED3 LED4
RGB LED
ドングル収納

■本体の充電

本体の充電は 5V 2A 出力の USB-A ポートから本体の USB-C ポートに付属の USB ケーブルを接続して行ってください。
充電中にコントローラーがコンソールに接続されていない場合、4 つの LED ライトが点滅します。
コントローラーが完全に充電されると、LED ライトは消灯します。
バッテリー残量が少なくなると、LED ライトが点滅します。
バッテリーが切れると、コントローラーはオフになります。
充電中にコントローラーがコンソール、PC に接続されている場合、コントローラーの LED ライトが点滅します。
コントローラーが完全に充電されている場合、LED ライトは点灯したままになります。



充電台からの充電
OMNI PLUS CHARGING DOCK（別売）を使用して充電することができます。



■電源オン / オフ

コントローラー電源オン / オフ機能
HOME ボタンを押すとゲームパッドの電源がオンがになり、接続します。
<デバイスの再接続>
1. コントローラーがオフの状態で、HOME ボタンを押して電源をオンにして再接続します。
2. コントローラーがオンの状態で、モードスイッチを切り替えて、最後に接続されたデバイスに再接続します。
- 電源オフ : HOME ボタンを 5 秒間押し続けて、ゲームパッドをオフにします。

■マルチプラットフォームワイヤレス接続

このコントローラーは、Windows PC、Android (Android 10.0 以上)、iOS (iOS 13.4 以上) デバイスなどさまざまなプラットフォームとのワイヤレス接続ができます。
以下の手順に従って接続してください。

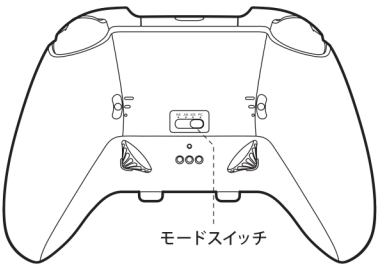
<Android ワイヤレス接続>
ステップ 1 : モードスイッチを「AN」の位置に移動して開始します。
ステップ 2 : ホームボタンを長押しして、Android Bluetooth ペアリング モードに入ります。LED 2 と 3 が点滅します。
ステップ 3 : デバイスで Bluetooth をオンにし、検出されたコントローラーを選択します。　表示 : Gamepad
ステップ 4 : 接続が成功すると、LED 2 と 3 が点灯します。
注意 : Android ワイヤレス接続モードは、PC、Steam Deck、Android 10.0 以降を搭載している Android デバイスと互換性があります。



<iOS ワイヤレス接続>
iOS 13.4 以降のデバイスと互換性があります。
ステップ 1 : モードスイッチを「iOS」の位置に移動して開始します。
ステップ 2 : ホームボタンを 長押しします。LED1 と LED4 が点滅します。
モバイルの Bluetooth をオンにして、検出されたコントローラーを選択します。
表示 : Xbox Wireless Controller
接続が成功すると、LED1 と LED4 が点灯します。

<Bluetooth PC ワイヤレス接続>
方法 1
ステップ 1 : モードスイッチを「iOS」の位置に移動して開始します。
ステップ 2 : ホームボタンを長押しします。LED1 と LED4 が点滅します。
Bluetooth をオンにして、検出されたコントローラーを選択します。
表示 : Xbox Wireless Controller
接続が成功すると、LED1 と LED4 が点灯します。
PC ではデフォルトで Xinput になります。

方法 2
ステップ 1 : モードスイッチを「PC」の位置に移動して開始します。
ステップ 2 : ホームボタンを長押しします。LED1 ~ LED4 が順に点滅します。
Bluetooth をオンにして、検出されたコントローラーを選択します。
表示 : Pro Controller
接続が成功すると、LED 1 が点灯します。



＜2.4GHz PC ワイヤレス接続＞
ステップ 1 : USB ドングルを PC に接続します。
ステップ 2 : モードスイッチを「PC」の位置に移動して開始します。
ステップ 3 : ホームボタンを長押しします。LED1 ～ LED4 が点滅します。　表示 : Xbox 360 Controller
ステップ 4 : 接続に成功すると、LED1 と LED3 が点灯します。Xinput モード。
ステップ 5 : Start+Select を長押しすると振動し、Switch Pro モードに切り替わります。
　　対応する LED1 が点灯し続けます。　表示 : PC Stream. Pro Controller
ステップ 6 : Start+Select をもう一度 6 秒間押して D-input に切り替えます。LED1 と LED4 が点灯し続けます。　表示 : GAMEPAD

■Switch への接続

＜ワイヤレス接続＞
注意 : 使用前に、コンソールの機内モードがオフになっていることを確認してください。
ステップ 1 : コントローラーの背面にあるモードスイッチを「NS」の位置に切り替えます。
ステップ 2 : コントローラーの電源を入れ、コントローラーのメニューから「持ちかた / 順序を変える」を選択します。
ステップ 3 : コントローラーの ホームボタンを長押しして、コンソール Bluetooth ペアリング モードに入ります。
LED1 から LED4 が順番に点滅します。
ステップ 4 : 接続が成功すると、対応する LED が点灯したままになります。
2 台目のコントローラーもサポートされています。
準備ができたら A を押します。
注意 :「持ちかた / 順序を変える」の変更ページに入ったら、できるだけ早く接続を完了してください。
この画面に長時間留まると、コントローラーを Switch に接続する際に問題が発生する可能性があります。
コンソールの起動とワイヤレス再接続コントローラーがコンソールとペアリングが完了したら、コンソールがスリープ モードの場合
コントローラーのホームボタンを押すと、コントローラーとコンソールの両方が起動し接続します。
コンソール画面がオンの場合、ホームボタンでコントローラーを起動でき、コントローラーをコンソールに再接続できます。

再接続に失敗した場合は、次の 3 つの手順に従ってください。
1. コンソールの機内モードをオフにします。
2. Switch コンソールでコントローラーのペアリング情報を削除します
(システム設定 > コントローラーとセンサー > コントローラーの切断)。
3. ワイヤレス接続の手順に従います。

＜有線接続 : Switch へ直接接続＞
ステップ 1 : Switch の設定画面で「Pro コントローラーの有線通信」をオンに設定します。
　　設定 > コントローラーとセンサー > Pro コントローラーの有線通信 > オン
注意 : コントローラーとドックをケーブルで接続する前に、「Pro コントローラーの有線通信」をオンにする必要があります。
ステップ 2 : コントローラーの背面にあるモードスイッチを「NS」の位置に設定します。
ステップ 3 : Type-C ケーブルを使用してコントローラーとコンソールを接続します。
ステップ 4 : 接続に成功すると、対応するチャンネル LED が点滅します。

＜有線接続 : ドックからの接続＞
注意 : コントローラーとドックをケーブルで接続する前に、「Pro コントローラーの有線通信」をオンにする必要があります。
ステップ 1 : 設定 > コントローラーとセンサー > Pro コントローラー有線通信 > オン
ステップ 2 : ドックの Switch コンソールを TV モードに設定します。
ステップ 3 : Switch ドックとコントローラーを USB ケーブルで接続します。「USB」アイコンが表示されたら、有線接続が成功したことを示します。

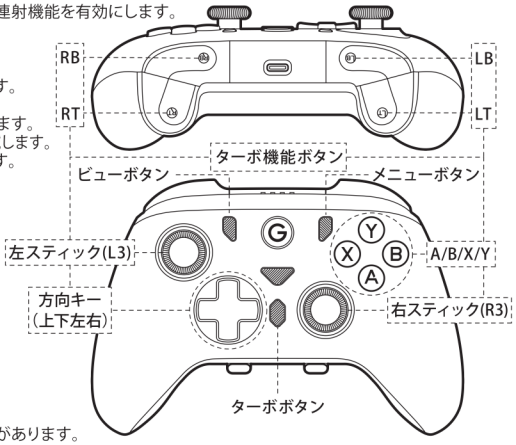
■有線 PC 接続

ステップ 1 : モードスイッチを「PC」の位置に動かす
ステップ 2: 充電ケーブルを介してコントローラーを PC に接続すると、LED1 と LED4 が点灯し続けます。
PC ではデフォルトで Xinput になります。　表示 : Xbox 360 Controller
ステップ 3 : VIEW+MENU を 6 秒間押して D入力に切り替えると、ゲームパッドが 1 回振動し、LED2 と LED3 が点灯し続けます。
: GAMEPAD

PC スイッチモード
ステップ 4 : モードスイッチを「NS」の位置に移動し、充電ケーブルを介してコントローラーを PC に接続します。LED1 がゆっくりと点灯し
接続されます。　表示 : Pro Controller

■機能　※一部バージョンのコントローラーでは設定時の操作が異なります。
詳しい変更点はFAQページ内 "よくある質問" の内容をご確認下さい。

<ターボと自動連射>
ターボ機能の設定に使用できる機能ボタン： A/B/X/Y/LB/LT/RB/RT/L3/R3/ 方向キー（上 / 下 / 左 / 右）
手動および自動ターボ速度機能の ON/OFF を切り替えます。
ステップ 1 : ターボボタンと機能ボタンの 1 つを同時に押して、半自動連射機能を有効にします。
（ボタンを押している間に連写するモード）
ステップ 2 : ステップ 1 を繰り返して、自動連射機能を有効にします。
（ボタンを押すたびに自動連射をオン、オフするモード）
ステップ 3 : ステップ 1 をもう一度繰り返して、連射モードを解除します。
ターボスピードには 3 つのレベルがあります :
最小 : 1 秒あたり 8 連射、対応するチャンネル ライトがゆっくり点滅します。
中 : 1 秒あたり 16 連射、対応するチャンネル ライトが中程度の速度で点滅します。
最大 : 1 秒あたり 21 連射、対応するチャンネル ライトが速く点滅します。



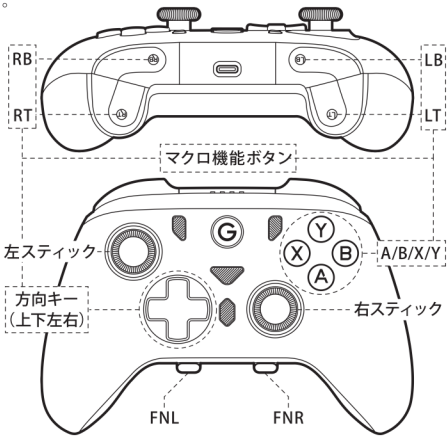
ターボ速度を上げる方法 :
手動ターボ機能がオンのときに、ターボとメニューボタンを押すと
ターボ速度が 1 レベル上がります。

ターボ速度を下げる方法 :
手動ターボ機能がオンのときに、ターボとビューボタンを押すと
ターボ速度が 1 レベル下がります。

すべてのボタンのすべてのターボ機能をオフにする :
コントローラーが振動するまでターボ ボタンを 5 秒間押します。
これですべてのボタンのターボ機能がオフになります。

<コントローラー振動設定>
(1) 振動には、強 (100%)、中 (70%)、弱 (30%)、オフ (0%) の 4 つの設定があります。
振動の強さを上げる方法 :
ターボボタンを押しながら左スティックを上に押すと、振動の強さが 1 レベル上がります。
振動の強さを下げる方法 :
ターボボタンを押しながら左スティックを下方向に押すと、振動の強さが 1 レベル下がります。
(2) デフォルト設定 : 中
(3) 振動レベルの設定
(左スティックを上) 強 - 中 - 弱 - オフ (左スティックを下)。
振動が弱い場合 : チャンネル インジケーターの LED1 が 1 回点滅し、低振動になります。
振動が中の場合 : チャンネル インジケーターの LED1 + LED2 が 1 回点滅し、中振動になります。
振動が強い場合 : チャンネル インジケーターの LED1 + LED2 + LED3 が 1 回点滅し、高振動になります。
振動がオフの場合 : チャンネル インジケーターの LED1 + LED2 + LED3 + LED4 が 1 回点滅し、無振動になります。
(4) 振動レベルにはメモリ機能があり、再起動後も最後の設定が記憶されます。

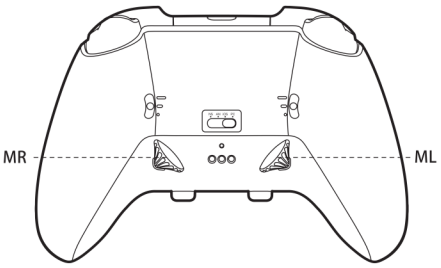
<マクロ機能>
コントローラーの下部には、マクロ対応のプログラム可能なボタン
「FNL」「FNR」があります。
マクロは、A/B/X/Y/LB/LT/RB/RT/ 上 / 下 / 左 / 右ボタンが登録
できます。



登録モードに入り、ボタンを設定します。
1. ターボ +「FNL」/「FNR」を同時に 2 秒間押し続けます。
LED2-LED3 が点滅します。
これで、コントローラーはマクロ設定を記録する準備が整いました。
2. 追加する機能ボタンを順番に押すと、コントローラーはボタン入力と
各ボタンの押された順番間隔を記録します。
3. マクロにしたいキーを一回押すと
対応する LED ライトが点灯したままになります。
これでマクロの内容が保存されます。
コントローラーがコンソールに再接続すると、最後のマクロ定義設定が
自動的に適用されます。

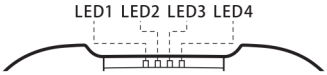
登録されたマクロ割当てをクリアします。
1. ターボとクリアしたいキーを押す。LED2、LED3 が点灯。
2. クリアしたいキーだけもう一度押す。

<割当て機能>
コントローラーの背面には、入力機能の割当てが可能なボタン
「ML」「MR」があります。
割当て可能なボタンは、A/B/X/Y/LB/LT/RB/RT/ 上 / 下 / 左 / 右ボタンです。



登録モードに入り、ボタンを設定します。
1. ターボ +「ML」/「MR」を同時に 2 秒間押し続けます。
LED2-LED3 が点滅します。
これで、割当てを行う準備が整いました。
2. 登録したいボタンを押してから、割当てを行う「ML」か「MR」を押します。
これで割当てが完了です。

<バッテリー表示>
コントローラーがオンのとき、ホームボタンを押すと、1 秒間電源表示が表示されます。
(LED 1 : 1% ～ 30% の電力、LED1+LED2 : 30% ～ 50% の電力、LED 1+LED2+LED3 : 50% ～ 80% の電力、
LED1+LED2+LED3+LED4 : 80% ～ 100% の電力)
※無線接続時はターボボタンとビューボタンの同時押しでも表示できます。



<コントローラーのキャリブレーション機能>
スティック + モーションセンサーのキャリブレーション
(1) コントローラーが電源オンの状態で、「X」、「ビュー」、「メニュー」ボタンを 1 秒間押し続けます。
　コントローラーのチャンネルインジケータの LED1 と LED2 が交互に点滅し、スティックのキャリブレーション状態になります。
(2) スティックのキャリブレーション中に、コントローラーの左右のスティックを最大まで倒しながら 2 ～ 3 回転します。
(3) 左右のトリガーボタンを奥まで 2 ～ 3 回押し込みます。
(4) コントローラーを水平なテーブルに置いた後、「MENU」ボタンを押してキャリブレーションを完了します。
　キャリブレーション後、スティックのデフォルトのデッド ゾーンは、内側デッド ゾーン 10%、外側デッド ゾーン 15% です。
　トリガーのデフォルトのデッド ゾーンは、プレデッド ゾーン 10%、ポストデッド ゾーン 10% です。

トリガー キャリブレーションについて : トリガーキャリブレーションは、電源投入時に自動的に行われます
(手動キャリブレーション中にキャリブレーションしなかった場合は、電源投入時に自動的にキャリブレーションされます)。

<ABXY ボタン値交換機能>
「B」、「ビュー」、「メニュー」のボタンを同時に押すと、ABXY を Xbox と Switch のレイアウトに合わせて切り替えることができます。
切り替えが成功すると、コントローラーが振動します。電源 Off 後はデフォルトに戻ります。

方向キーと左スティックの交換
コントローラーの電源オン状態で、左スティックを押し込みます。
左スティックと方向キーの値が交換され、コントローラーが振動して切り替えが成功すると示されます。電源 Off 後はデフォルトに戻ります。
PS: 交換後、格闘ゲームや明確な指示が必要なゲームでは、方向キーを使用した方が操作性が向上します。

<スティック マージン スイッチ>
コントローラーの電源オン状態で、ターボ + ビューボタンを 2 秒間押し続けます。
コントローラーのスティック マージンは、丸型 / 四角型に切り替えることができます。デフォルトは丸型です。
切り替えが成功すると、コントローラーが振動します。
スティックの丸いマージン : エラー率 0.2%
スティックの四角いマージン : エラー率 10% - 12%
On / Off 後のメモリ機能はありません。

<スティックとのモーションセンサー マッピングの関連付け>
(1) スティックとのモーションセンサー マッピングの関連付け
1.1「メニュー」ボタンと「L3 (左スティックを押し下げる)」ボタンを 3 秒間押し続けます。
コントローラーが 1 回振動して、左スティックへのモーションセンサーマッピングを有効 / 無効にします。
1.2「メニュー」ボタンと「R3 (右ジョイスティックを押し下げる)」ボタンを 3 秒間押し続けます。
コントローラーが 1 回振動して、右スティックへのモーションセンサーマッピングを有効 / 無効にします。
(2) モーションセンサーマッピングスティックの X 軸と Y 軸の反転（スティックとのモーションセンサーマッピングの関連付けが成功した後この機能を有効にすることができます）
2.1 スティックの X 軸の反転：X 軸方向を切り替えるには、「メニュー」ボタンと「X」ボタンを 1 秒間押し続けます。
コントローラーが振動して切り替えが行われたことを示します。
2.2 スティックの Y 軸の反転：Y 軸方向を切り替えるには、「メニュー」ボタンと「Y」ボタンを 1 秒間押し続けます。
コントローラーが振動して切り替えが行われたことを示します。
(3) モーションセンサーマッピングスティックの感度の調整（ジョイスティックとのモーションセンサーマッピングの関連付けが成功した後この機能を有効にすることができます）
3.1「メニュー」と方向キーの上 / 下を押し続けると、スティックの Y 軸感度が切り替わります（上を押すと感度が上がり、下を押すと感度が下がります）。
3.2「メニュー」を押したまま方向キーの左 / 右を押すと、ジョイスティックの X 軸感度が切り替わります（左で感度が下がり、右で感度が上がります）。
3.3 感度は 5 段階あります：20 - 40 - 60 - 80 - 100（デフォルトは 80）。
3.4 コントローラーの振動は、スティックの感度が切り替わったことを示します。
（4）モーションセンサーのマッピングにはメモリ機能がありません。
コントローラーがスリープ状態またはオフ状態の場合、マッピング機能はオフになります。

＜LED ライト効果の設定＞
(1) RGB ライト効果モードの切り替え
「ビュー」と方向キーの上 / 下を押して、ライトの「変色」、「単色」、「明滅」を調整します。デフォルトの RGB ライト効果は「変色」です。
(2)「単色」および「明滅」モードでのライト効果の調整
2.1「ビュー」と十字キーの左を押して、ライトの色を赤側に調整します。
2.2「ビュー」と十字キーの右を押して、ライトの色を紫側に調整します。
ライトの順序 : 赤 - オレンジ - 黄 - 緑 - シアン - 青 - 紫
(3) RGB 明るさの調整
RGB スティックのライト効果、左グリップの RGB ライト、および ABXY バックライトを設定できます。
3.1「ビュー」+ 左スティックの上を押すと、ライトの明るさが上がります。
3.2「ビュー」+ 左スティックの下を押すと、ライトの明るさが下がります。
明るさは 5 段階あります : 0 (オフ) - 25 - 50 - 75 (工場出荷時のデフォルト設定) - 100
(4) 3D スティック RGB ライトのオン / オフ方法
RGB ライトは、組み合わせキー「A」、「ビュー」、「メニュー」を押すことでオン / オフにできます。

＜スリープ機能＞ (スリープ時間はアプリ内で調整できます)
(1) 手動スリープ : ホームボタンを 5 秒間押し続けると、Bluetooth が切断され、スリープ シャットダウン状態になります。
(2) コントローラーの最初のペアリング状態では、2 分 30 秒間接続がないとスリープ状態になります。
(3) コントローラーの動作状態では、ボタンまたは軸の操作が 5 分間ないとスリープ状態になります。

＜リセット機能＞
チップリセット：コントローラーに機能障害、フリーズ、その他の異常がある場合は、コントローラーの背面にあるリセットホールスイッチを 1 秒間押してリセット操作を実行します。

設定リセット：ターボボタンを押し続けるとコントローラーが 5 秒でターボクリアの振動が一回入り、10 秒で長く振動しリセット操作が完了します。
リセット後、ターボ、振動、マクロプログラミングはデフォルト設定に戻ります。





<キーコード比較>

ボタン	スイッチ	Android	iOS	PC Xinput
上	上	上	上	上
下	下	下	下	下
左	左	左	左	左
右	右	右	右	右
(x)A	(x)A	(x)A	(x)A	(x)A
(O)B	(O)B	(O)B	(O)B	(O)B
(□)X	(□)X	(□)X	(□)X	(□)X
(Δ)Y	(Δ)Y	(Δ)Y	(Δ)Y	(Δ)Y
LB	Z	LB	LB	LB
RB	R	RB	RB	RB
LT	ZL	LT	LT	LT
RT	ZR	RT	RT	RT
L3	L3	L3	L3	L3
R3	R3	R3	R3	R3
ビューボタン	-	Select	キャプチャーボタンダブルクリック	Back
メニューボタン	+	Start	PAUSE	Start
ホームボタン	ホームボタン	ホームボタン	ホームボタン	ホームボタン
キャプチャーボタン	キャプチャーボタン	\	\	\
ターボボタン	ターボボタン	ターボボタン	ターボボタン	ターボボタン
左スティック	左スティック	左スティック	左スティック	左スティック
右スティック	右スティック	右スティック	右スティック	右スティック

※記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。
※イラストと実際の製品は異なる場合がございます。
※本製品の仕様・外観は改良のために予告無く変更することがございます。

【お問い合わせ・保証規定】
MSY 株式会社 サポートサイト
https://support.grapht.tokyo/hc/ja
保証期間：1 年間

GRAPHT